

家継死去…徳川宗家の途絶

幕府財政の悪化



➤ 紀伊藩主[a.]が8代将軍就任 (在職 1716~1745) …[b.]の改革

政治の刷新

財政再建

・人材登用

①代表的人物

旗本：[c.] (江戸町奉行)

名主：[d.] (『民間省要』)

儒者：荻生徂徠 (『政談』)・室鳩巢

② [e.] (1723)

在職時のみ役高に対して不足する石高を補う

・ [i.]輸入の禁緩和 (1720)

キリスト教以外の洋書の輸入許可

⇒野呂元丈・[j.]にオランダ語

習得を命じる (蘭学の始まり)

・都市政策

①[m.]の設置 (いろは 48組)

②[n.]の設置

貧民救済施設の小石川養生所を設置

・司法改革

①[o.] (1719)

金銭訴訟は幕府ではなく、当事者間で解決

②[p.] (1742)

判例にもとづく司法判断を推進

③御触書寛保集成 (1744)

それまでに出された幕府の法令を類別に編纂

・将軍職継承の安定化

田安家・一橋家の設立

➤ 9代将軍[q.]

・吉宗による大御所政治

⇒吉宗死後は、側近大岡忠光が重用された

・清水家の設立…田安・一橋と合わせて三卿と呼ばれる

・一揆の続発…郡上一揆 (1754~58) など

➤ 10代将軍[r.]

・側用人[s.]は積極的に商業資本を利用した財政再建を目指す

・ 倹約令…自ら実践して財政支出を抑制

・ 株仲間の公認 (1721) …運上金の徴収・商業の統制

・ [f.]の実施 (1722~30)

参勤交代の在府期間半減の代わりに

大名に1万石につき100石を幕府に上納させた

・ 年貢増徴策

① [g.]…例：武蔵野新田・飯沼新田など

町人資本を活用して新田開発 (町人請負新田)

② 年貢率の引き上げ (四公六民→五公五民)

検見法から[h.]へと切り替え

③ 甘藷(さつまいも)・朝鮮人参・櫛・さとうきびの栽培奨励

畑地からの年貢増収を図った

⇒年貢増徴に成功するが、米価が下落 (米価安の諸色高)

・ [k.]の米市場の公認 (1730)：幕府による米価統制

米を買い占める商人への不満

・ 享保の飢饉(1732)…打ちこわしの発生

→一時米価が急騰するが再び下落

・ [l.] (1736)の铸造

品質を下げて貨幣供給を増やして米価引き上げに成功

一時的に幕府財政の立て直しに成功したが、

農村への負担の増加となった

年貢増徴の限界

家継死去…徳川宗家の途絶

幕府財政の悪化

➤ 紀伊藩主[a. 徳川吉宗]が8代将軍就任(在職1716~1745)…[b. 享保]の改革

政治の刷新

財政再建

・人材登用

①代表的人物

旗本：[c. 大岡忠相] (江戸町奉行)

名主：[d. 田中丘隅] (『民間省要』)

儒者：荻生徂徠(『政談』)・室鳩巢

② [e. 足高の制] (1723)

在職時のみ役高に対して不足する石高を補う

・ [i. 漢訳洋書] 輸入の禁緩和 (1720)

キリスト教以外の洋書の輸入許可

⇒野呂元丈・[j. 青木昆陽]にオランダ語習得を命じる(蘭学の始まり)

・都市政策

① [m. 町火消] の設置 (いろは48組)

② [n. 目安箱] の設置

貧民救済施設の小石川養生所を設置

・司法改革

① [o. 相对済し令] (1719)

金銭訴訟は幕府ではなく、当事者間で解決

② [p. 公事方御定書] (1742)

判例にもとづく司法判断を推進

③御触書寛保集成 (1744)

それまでに出された幕府の法令を類別に編纂

・将軍職継承の安定化

田安家・一橋家の設立

➤ 9代将軍[q. 徳川家重]

・吉宗による大御所政治

⇒吉宗死後は、側近大岡忠光が重用された

・清水家の設立…田安・一橋と合わせて三卿と呼ばれる

・一揆の続発…郡上一揆 (1754~58) など

➤ 10代将軍[r. 徳川家治]

・側用人[s. 田沼意次]は積極的に商業資本を利用した財政再建を目指す

・ 倭約令…自ら実践して財政支出を抑制

・ 株仲間の公認 (1721) …運上金の徴収・商業の統制

・ [f. 上米] の実施 (1722~30)

参勤交代の在府期間半減の代わりに

大名に1万石につき100石を幕府に上納させた

・ 年貢増徴策

① [g. 新田開発] …例：武蔵野新田・飯沼新田など

町人資本を活用して新田開発(町人請負新田)

② 年貢率の引き上げ(四公六民→五公五民)

検見法から[h. 定免法]へと切り替え

③ 甘藷(さつまいも)・朝鮮人参・櫛・さとうきびの栽培奨励
畑地からの年貢増収を図った

⇒年貢増徴に成功するが、米価が下落(米価安の諸色高)

・ [k. 堂島] の米市場の公認 (1730)：幕府による米価統制

米を買い占める商人への不満

・ 享保の飢饉(1732)…打ちこわしの発生

→一時米価が急騰するが再び下落

・ [1. 元文小判] (1736)の铸造

品質を下げて貨幣供給を増やして米価引き上げに成功

一時的に幕府財政の立て直しに成功したが、
農村への負担の増加となった

年貢増徴の限界